



# 議会だより

## おおたわら市

“題字は高野礼子議長”

平成30年  
8月  
1日号  
No.186



議会報告会開催（上：両郷地区公民館、下：佐久山地区公民館）

# 《特集》

## 第3回議会報告会開催

大田原市議会では6月26日から29日の4日間、市内4会場において、議会基本条例に基づき議会報告会を開催いたしました。この報告会では、各常任委員会の行政視察を中心に報告を行ったほか、会場に訪れた市民の方たちと意見交換を行いました。

各会場では、参加者から議会や市政に対する貴重なご意見・ご要望等をいただきました。

これらお寄せいただきましたご意見等は、全議員が今後の議会活動において議論や政策提言に反映させてまいります。

### 内 容

#### (1) 報告事項

- ・総務常任委員会…………行政視察報告
- ・民生常任委員会…………行政視察報告
- ・建設産業常任委員会…行政視察報告
- ・文教常任委員会…………行政視察報告

#### (2) 意見交換会(フリートーク)

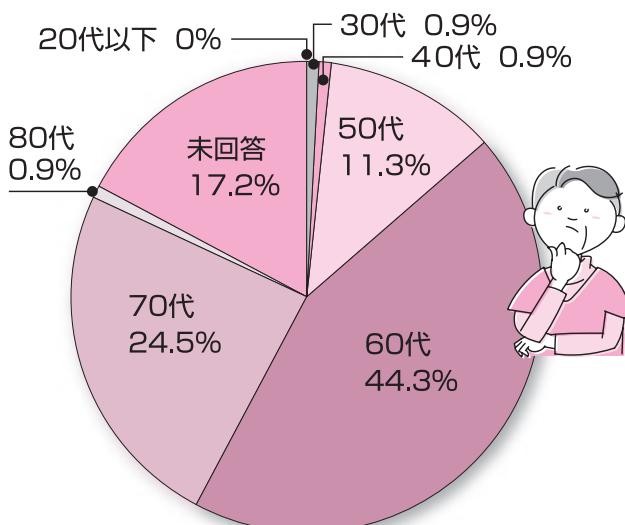


報告の様子

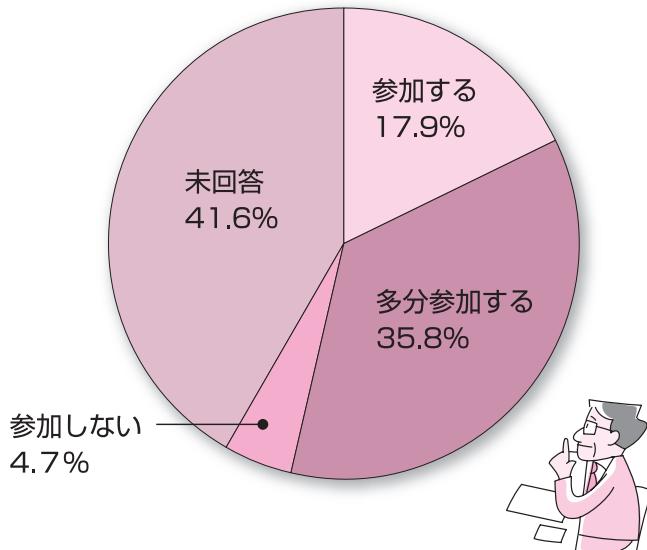
班構成	開催日	会場	参加者数
第1班 菊池久光(班長) 黒澤昭治、引地達雄、弓座秀之、 高崎和夫、大豆生田春美	6月26日	両郷地区公民館	33人
第2班 高瀬重嗣(班長) 鈴木 央、滝田一郎、前野良三、 秋山幸子	6月27日	佐久山地区公民館	47人
第3班 高木雄大(班長) 藤田紀夫、中川雅之、小林正勝、 星 雅人	6月28日	トコトコ大田原	4人
第4班 小池利雄(班長) 櫻井潤一郎、千保一夫、小野寺尚武、 前田雄一郎、印南典子	6月29日	大田原西地区公民館	16人
合	計		100人

**議会報告会アンケートの集計結果をお知らせします。（回答率85.8%）**

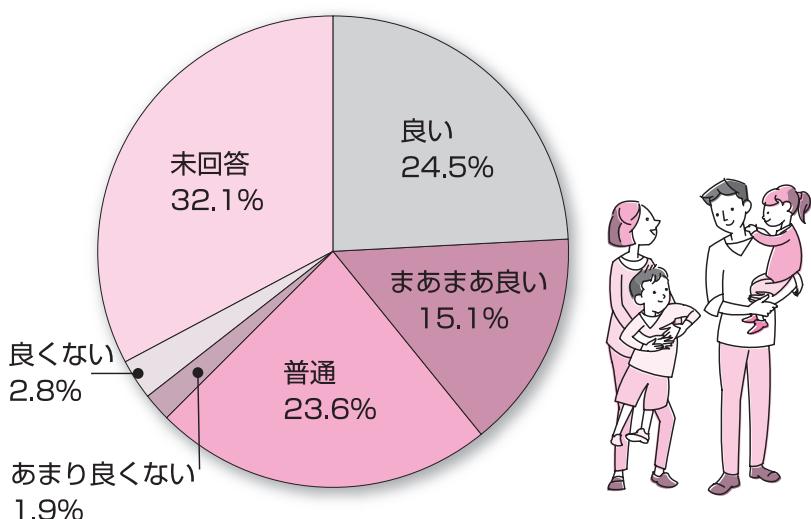
**参加者の年齢**



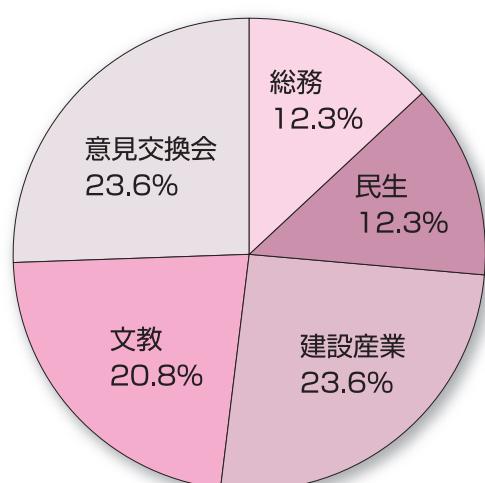
**次回への参加意欲**



**感 想**



**良かった内容**



両郷地区公民館で車座による意見交換会の様子

# 議会報告会に対する意見や要望

アンケートで出された意見等を一部抜粋



PC使用で初めてだが、うまく理解できなかった

話し合った内容も最後に発表して欲しかった

ある程度農作業が緩やかな時期に

駐車場の台数が少ない為、止められない

自ら検討した事項について報告すべき

報告会の中身が一寸違った感じ。視察報告とはいっていなかったので、議会報告と思っていたが・・・。市民との意見交換会であってもよかったです

報告会の内容を事前に周知する必要があると思う  
※何を報告するのか事前に知りたい

活発な意見をたくさん聞く事が出来て、参加して良かったと思います。地域の問題色々ある事がわかり、やはり参加しないとわかりません。色々発見があり勉強になりました

何でも意見できる環境は素晴らしい

いかに市民に伝えていくか工夫と市民の自覚が大切である

輪になっての意見交換は身近になれて良かった

車座での報告会はよいと思う。常任委員会ごとの報告は良かった

得になる、楽しくなる情報を探して欲しい

資料も統一して分りやすく出して欲しい（各委員会の資料がばらばら）

各委員会は何をするのか目的をおはなしください

4名の参加は寂しい

参考になりました



「トコトコ大田原」にて意見交換会の様子



佐久山地区公民館にて意見交換会の様子

平成30年第2回

## 市議会定例会

### ホテル等立地奨励 金の新設

ました。議案第46号は国際医療福祉大学の理事長である高木邦格氏を名誉市民に推举する議案です。

条例案件の議案第53号は、

平成30年第2回市議会定例会（6月定例会）は、去る6月11月（月）から21日（木）までの11日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、報告4件、議案18件、議会からは陳情1件が提出されました。

人事案件の主なものは、議案第44号の副市長に藤原和美産業振興部長を選任する議案、議案第45号永山林氏を副市長に再任する議案であり、副市長を2人体制にして、政策課題に迅速かつ積極的に対応していくといった説明があり

ました。議案は全て原案通り可決されました。議案の詳細については下記をご覧ください。

一般質問は、3日間で14件。詳細については、70ページをご覧ください。

### 平成30年第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
選挙第1号	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について（津久井富雄市長）	当選
報告第3号	平成29年度大田原市継続費繰越計算報告について	報告受理
報告第4号	平成29年度大田原市繰越明許繰越計算報告について	報告受理
報告第5号	平成29年度大田原市水道事業会計予算繰越計算報告について	報告受理
報告第6号	一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況について	報告受理
議案第38号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (平成29年度大田原市一般会計補正予算(第6号))	承認 (全会一致)
議案第39号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (平成29年度大田原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))	承認 (全会一致)
議案第40号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (大田原市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第41号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第42号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第43号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (大田原市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)
議案第44号	大田原市副市長の選任につき同意を求めるについて（藤原和美氏）	同意 (全会一致)
議案第45号	大田原市副市長の選任につき同意を求めるについて（永山林氏）	同意 (全会一致)



# 一般質問 市政を問う

## 一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。  
(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。)

### 質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	大豆生田春美	①「L Eブック(やさしく読みやすい本)」の導入について ②乳がん検診について ③中学校の英語力向上について	7	小池 利雄	①登下校の安全対策について ②公用車のドライブレコーダー設置について ③所有者不明農地について
2	滝田 一郎	①日本遺産「那須野が原開拓」の認定を契機とした観光施策について ②旧佐久山中学校施設の棒高跳び等陸上競技練習場としての利活用について ③小規模校の特色の明確化及び学区外入学者について	8	印南 典子	①ハラスメントのない互いに尊重し合う大田原市を目指すため、本市のハラスメント防止対策について ②こどもから高齢者まで、全ての市民が互いに見守り合う意識の醸成と協働について ③高齢者世帯の将来への備えについて
3	星 雅人	①建設行政について ②食物アレルギーや偏食のある子どもへの給食対応について ③道路交通法の改正に対する消防団の対応について	9	高木 雄大	①不審者対策と子どもの安全、防犯のまちづくりについて ②介護支援について ③鳥被害対策について ④水辺公園について
4	高瀬 重嗣	①指定難病について ②予防接種について	10	中川 雅之	①新庁舎整備について ②水辺公園事業の今後の本市の取り組みについて ③大田原東地区内にナイター照明付きテニス場の新設について
5	菊池 久光	①栃木県北と茨城県北を結ぶ幹線道路整備及び公共交通の連携について ②昨年の運転免許制度改革に伴う消防団への影響について ③選挙の投票率と投票所について ④デスティネーションキャンペーン終了後の観光行政について	11	鈴木 央	①移住・定住の推進施策について ②資生堂の進出について
6	櫻井潤一郎	①国民健康保険証の材質について ②要約筆記者養成講座について ③輝きバンク登録について ④自転車の大会について	12	秋山 幸子	①図書館の利活用について ②中学校「特別の教科・道徳」について ③大田原市の屋台まつりについて
			13	小野寺尚武	①財政運営について ②建設行政について ③市営バスについて
			14	千保 一夫	①市長の行政運営の基本姿勢について

※太字が掲載されている項目

## 小規模校の特色の明確化及び学区外入学者について



滝田 一郎 議員

### 一般質問

## 「L.Lブック」(やさしく読みやすい本)の導入について



大豆生田 春美 議員

**質問** 本市の図書館への配置状況をお伺いいたします。

**答弁** L.Lブックとは、知的障害、発達障害のある子どもたちにも楽しく本の内容を理解する助けとして、イラストや写真、記号、絵記号を多く添え、やさしく読めるように工夫されている本です。最近では障害のある方のみならず、高齢者や外国人、認知症の人など、読んだり内容

を理解することが苦手な人たちへと対象が広がっていると聞いています。現在所蔵はしていますが、障害等をお持ちの方へ対応するためには有効であると考えていますので、今後のL.Lブックの普及状況を注視し、配置が可能であるかどうかを研究してまいります。

**質問** 学校図書館へL.Lブックを配置する考えはあるかお伺いいたします。

**答弁** 学校図書館については、現在のところ配置は考えていませんが、市立図書館への配置の必要性と合わせて研究してまいりたいと考えています。

**質問** 宇都宮市立城山西小学校をモデルとした小規模特認校の特色の明確化及び学区外入学者の促進についてお伺いします。

**答弁** 宇都宮市立城山西小学校は、40名程度であつた児童数が現在では100名程度まで増加し、そのうち約60名程度が通学区外から通つている学校であると伺っています。本市においても昨年度からコミュニティース

クールの導入により、地域の声が反映されやすくなつたことから、今まで以上に学校の特色が明確になることが期待され、その内容につきましては広く市民の皆様にお知らせしていきたいと考えています。

**質問** 小規模特認校の見直しについてお伺いします。

**答弁** 平成12年度から宇田川小

須賀川小学校の4校を小規模特認校として指定しています。要望のある全ての学校を特認校にすることは、通学指定校の考え方があるため困難ではあります。が、学校運営協議会により明確にされた各学校の特色、地域のご意見、さらには数年後を見越した児童数の増減などを考慮し特認校の定義を含めた見直しを研究してまいります。

## 指定難病について



高瀬 重嗣 議員

### 一般質問

## 食物アレルギーや偏食のある子どもへの給食対応について



星 雅人 議員

**質問** .. 市単独事業で受給者1人

**答弁** .. 平成30年3月31日現在、市内の成人442名と小児の70名が認定されている。相談事業や患者家族会等の情報交換会、就労支援なども行われている。

**質問** .. 特定疾患者福祉手当を受ける手続について伺う。

**質問** .. 大田原市には指定難病患者はどのくらいいるのか。支援状況について伺う。

**答弁** .. 平成30年3月31日現在、市内の成人442名と小児の70名が認定されている。相談事業や患者家族会等の情報交換会、就労支援なども行われている。

**質問** .. 特定疾患者福祉手当を受ける手続について伺う。

**質問** .. 見た目ではわからない内

**答弁** .. 今現在はしていない。ヘルプマーク、認知度が低いと何の意味もない。市営バス等の優先席で、ヘルプマークをつけている人の表示はどうなっているのか。

**質問** .. 見た目ではわからない内

**答弁** .. 文部科学省及び栃木県教育委員会が示すマニュアルに基づき、市として食物アレルギー対応の基本方針を作成中です。この指針では、原因となる食物を6品目とし、提供するかしないかの二者択一とした完全除去対応を原則とするなど、安全性を最優先にした内容となるよう検討しています。平成31年度からの本格運用開始を考えています。

**質問** .. 平成24年12月、食物アレルギーを持つ児童が学校給食終了後にアナフィラキシーショックの疑いで亡くなるという事故が発生したことを受け、文科省は「学校給食における食物アレルギー対応指針」を作成し、県も平成28年2月に「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル」を発行しました。市でもアレルギーを持つ子供への給食対

応が変わるようにアレルギーを持つ子供への給食対応の現状と今後の方針を伺います。

**答弁** .. 本市では学校ごとに児童、生徒の実態を確認し、個々のケースに合わせた除去食や代替食の提供などの対応を行っていますが、アレルギーを持つ子供の対応人數により、調理工程が複雑になり事故につながる危険性が増えることが考えられるため、

文部科学省及び栃木県教育委員会が示すマニュアルに基づき、市として食物アレルギー対応の基本方針を作成中です。この指針では、原因となる食物を6品目とし、提供するかしないかの二者択一とした完全除去対応を原則とするなど、安全性を最優先にした内容となるよう検討しています。平成31年度からの本格運用開始を考えています。

## 一般質問

## 要約筆記者養成講座について



櫻井 潤一郎 議員

## 栃木県北と茨城県北を結ぶ幹線道路整備及び公共交通の連携について



菊池 久光 議員

**質問** 現在までの受講者及び活動人数について伺います。

**答弁** 養成講座は、栃木視聴覚障害者情報センター主催と各市町主催の講座があり、センター主催の受講者は、平成26年度10名、平成27年度11名、平成28年度20名、平成29年度17名です。このうち大田原市民の受講者は1名です。また、県内各市町主催としては、日光市と大田原市

は、経済活動や観光交流及び地域医療連携で密接に結びついています。八溝山周辺地域定住自立圏で地域交流から定住に結びつく圏域づくりを進めています

**質問** 栃木県北・茨城県北を結ぶ幹線道路整備についてしっかりと調査を行い、国・県に対して要望活動を行っていくべきと思うが、考えを伺います。

**答弁** 栃木県北部と茨城県北部は、福島3県の広域連携軸形成の為に有識者による茨城・栃木・福島3県の広域連携軸形成の為の道路懇話会が開催され、高規格な道路のあり方などについて検討が行われ、総括として3県で足並みを揃え連携して進める

が実施をしており、大田原市主催の受講者は平成26年度2名、平成27年度1名、平成28年度1名、平成29年度の受講者はゼロで、伸び悩んでいる状況です。次に、活動人数は、センターの登録者は栃木県全体で152名です。内訳は手書きが98名、パソコンが46名、手書きとパソコン併用が8名です。そのうち大田原市の登録者は6名で、手書きます。

が、この地域は八溝山系山間部に位置し高速道路等の高規格道路空白地帯もあります。栃木県ホームページによると、平成29年10月・11月及び平成30年3月に有識者による茨城・栃木・福島3県の広域連携軸形成の為に、道路整備が重要であると繋がる動向に注視し情報収集に努め、道路整備等の要望活動に繋げていきたいと考えています。

**質問** 必要性、継続性について伺います。

**答弁** 今後は、ますます要約筆記者の派遣需要が高まると想われますので、この事業は継続して、一人でも多くの方に受講していただきますよう市の広報やホームページにより周知徹底を図つてまいりたいと考えております。

ことで高規格な道路を着実に具現化していくべきと報告されていきます。本市としても、高規格道路縦軸として栃木県北東部を貫く道路、横軸として茨城県港湾区域から栃木県北部に繋がる道路整備が重要であると考えています。今後とも国・県等の動向に注視し情報収集に努め、道路整備等の要望活動に繋げていきたいと考えています。

所有者不明農地について  
ついて  
所有者不明農地に

一般質問



印南 典子 議員



小池 利雄 議員

質問・所有者不明農地についてお伺いをいたします。

答弁・市内では、相続未登記が

779ヘクタール、所有者の転出等が45ヘクタール、共有者の一部不明が25ヘクタールであり、合計849ヘクタールとなり農地全体の約7%です。農業委員会法の改正に基づき、農業委員会の体制が変わり、新たに農地利用最適化推進委員が設置され、

現在農業委員会では、推進委員による担当地区の農家を対象に本年1月から6月末までの期間において、農業経営状況意向調査を実施しています。5年後を目途に将来を考えています。5年後を

所有農地をどのようにしたいかなどについて取りまとめ、担い手農家に集積、集約をしていくための基礎資料とすることを目指したものです。本国会で成

立した農業経営基盤強化促進法の一部改正により、所有者不明農地を担い手等が借りやすくなり、貸付期間も5年から20年に延長されました。改正法施行後6ヶ月を超えない範囲内で施行される予定で、農業委員会が担う手続きなどを示されることになりますので、それら基準等に因り迅速に事務を進めていきたいと考えています。

質問・市民全員で担う「ながら見守り活動」の推進についてお伺いします。

答弁・安全生活見守り事業において市内全地域での見守り活動を開催しています。各学校や地域においては見守り活動が定着してきていると考へております。今後も学校、家庭、地域、そして市民が一体となり見守りにかかる体制を継続し、子供か

ら高齢者まで安心して生活ができるよう防犯対策に取り組んでまいります。

質問・「ながら見守り活動」と民生委員との連携協働と民生委員の負担軽減について伺います。

答弁・民生委員は地域の実情に詳しく身近な相談相手でありますので、行政側からいろいろな調査の協力依頼をしております。そのため通常の職務に加えて、

過度な負担をかけていると思われます。今後は、民生委員本来の職務に負担がかからないよう十分に配慮し、一層地域の身近な相談役として民生委員活動にご尽力いただける環境整備に努めます。そして、一層進む高齢化社会を迎えて、全国的に問題となっている民生委員のなり手不足の解消にもつなげてまいりたいと考えております。

## 新庁舎整備について



中川 雅之 議員

**質問**・新庁舎の整備計画に伴う湯津上支所の利活用について。

**答弁**・湯津上庁舎については、新庁舎が完成した後教育委員会、選挙管理委員会、監査委員の各事務所が本庁舎に移り、総合窓口課、会議室、図書室は、そのまま使用する予定で、移転後の空スペースについては、民間活用を含めた利活用を検討している所です。これまでの経過につ

## 一般質問



高木 雄大 議員

## 介護支援について

**質問**・介護離職者ゼロへ向けた本市の考えについて伺います。

**答弁**・本市では、要介護者の支援はもちろん、介護者の方の負担軽減のためにも介護保険サービスを積極的に利用できるよう介護基盤の整備、支援体制の強化、制度周知の徹底を介護保険制度開始当初から取り組んできました。平成29年度の要支援、要介護認定率は18・7%で、県

内1位、認定を受けた方のサービス利用率は38・6%となつており、介護が必要な方の多くが何らかの介護保険サービスを利用している状況です。特に、在宅での訪問介護、通所介護のサービスを利用しながら必要に応じてショートステイも利用できる小規模多機能型居宅介護の事業所は高齢者1人当たりの事業所数が県内で最も多く、在宅で

いては、湯津上地区の自治会長の皆様と意見交換会を2回開催し、地元住民の思いや利活用案を伺いました。また、利活用検討会の必要性についても説明を行い、まずは民間企業の参入を行ったため、29年度市内金融機関との意見交換会を2回実施しました。また、公共施設の民間活用について、知見のある政府系金融機関や先進自治体に助言を行

った。本年度は民間企業の参入を図るための公募条件を検討するため、サウンディング調査を行った。市内及び近隣市町の企業等も含め、広く周知していきます。

## 中学校「特別の教科 ・道徳」について



秋山 幸子 議員

### 一般質問

## 移住・定住の推進 施策について



鈴木 央 議員

**質問** 今までの取り組みによる成果についてお伺いします。

**答弁** 平成28年9月、市内本町地内に大田原市移住・定住サポートセンターを開設しました。

相談窓口の設置、移住セミナーの実施、移住体験モニターツアーやの実施、U.I.Jターン定住者交流会の開催などの事業を実施して移住・定住の促進に取り組んでいます。相談件数の実績は

平成28年度に85件、平成29年度に253件でした。又、東京都千代田区の、ふるさと回帰支援センターを通じて栃木県を移住希望先として相談された方に本市移住・定住サポートセンター

を紹介して頂いています。サポートセンターを介した移住・定住の実績として平成28年度に2世帯3名、平成29年度に6世帯20名の方が本市に移住致しました

た。本年度は、現在相談中の方が6世帯13名いらっしゃいます。このうち1世帯2名の方が6月中に移住を予定しています。このような観点から本市の移住・定住施策は着実に成果を上げていると考えています。

**質問** 2019年度から、中学校の道徳が教科化され、今年度はその教科書の採択が行われます。「特別の教科・道徳」では、どの様な方法で生徒たちの評価を行うのか伺います。

**答弁** 道徳科の授業で見られた各児童生徒の成長の様子を記述により評価することになります。

**質問** 教科書展示について、どのように考へておられます。

**答弁** 展示場所については、県教育委員会が設置するものであり、市はその要請に応じて、湯津上庁舎図書室としております。

**質問** 文部科学省はホームページで「教科書の採択に関わる留意事項」について通知を出しております。「教科書採択に対し、

より広い視野から意見を反映させる為、保護者などの意見を踏まえた調査研究の充実も重要。

教科書展示会は、教員や保護者などが足を運びやすくする為、各学校を訪問して行う移動展示会や図書室、公民館などでの展示会の充実が重要」とあります。展示会場に記述内容を制限しない用紙や、意見箱の用意などが出来ないものか伺います。

**答弁** 教科書の展示については、本市では準備はまだしておりません。

## 市長の行政運営の 基本姿勢について



千保 一夫 議員

**質問** 市立美術館建設について、期待する市民が多い。平成22年2月、中心市街地活性化事業の中で、45%の交付金の見通しが立ち、残りを合併特例債で財源確保をすれば、市負担は10年間でわずか1億数千万円程度を負担すれば、念願の美術館ができる千載一遇のチャンスに恵まれた。ところが3月市長選、4月には津久井市長に事務引継ぎを

### 一般質問



小野寺 尚武 議員

## 財政運営について

**質問** 中期財政計画も5年間の半ばに差しかかり予定通り進んでいるか伺います。

**答弁** 每年度実施している進行財政運営は予定通り進んでいると考えます。今後は引き続き市民のニーズの変化に柔軟に対応し、収支のバランスの取れた健全な運営を継承するため本計画を推進していきます。

**質問** プラスの効果とマイナスの点を伺います。

**答弁** プラスの効果は、予算編成から執行を通して、職員の財政への関心の高まり、費用対効果・コスト意識の醸成等であり、30年度予算編成では多くの部署で経費を削減し、また財源の重点かつ効果的配分により投資的事業が計画的にできました。また、マイナス面は一部事業の実

**質問** 今後の取り組み、考え方、方策の具体的な効果について伺います。

**答弁** 行財政計画推進で諸施策の着実な実現と持続可能な運営の確立のため予算編成に活用し、計画の見直しを検討しても効果は、市民サービスの維持、向上の実現と考えます。

したのに7月には美術館建設を白紙撤回してしまった。美術館整備による地方の文化芸術振興策は正に地方創生の目玉として、人口減少対策、移住・定住人口や交流人口増加への貢献が期待され、国の成長戦略にも叶つている。津久井市政3期目に財源確保の見通しを立て、美術館建設とアートによるまちづくりで大きな成果を期待し、伺います。

**質問** 市立美術館建設について、期待する市民が多い。平成22年2月、中心市街地活性化事業の中では、45%の交付金の見通しが立ち、残りを合併特例債で財源確保をすれば、市負担は10年間でわずか1億数千万円程度を負担すれば、念願の美術館ができる千載一遇のチャンスに恵まれた。ところが3月市長選、4月には津久井市長に事務引継ぎを

したのに7月には美術館建設を白紙撤回してしまった。美術館整備による地方の文化芸術振興策は正に地方創生の目玉として、人口減少対策、移住・定住人口や交流人口増加への貢献が期待され、国の成長戦略にも叶つている。津久井市政3期目に財源確保の見通しを立て、美術館建設とアートによるまちづくりで大きな成果を期待し、伺います。

## 協議会及び委員会の内容

# 4月～6月

### 全員協議会

◆4月12日

(報告事項)  
婚活マスターお見合い報奨金の新設について

大田原市結婚新生活支援補助事業の継続実施について  
新庁舎建設に係る要望書に対する回答及び工事の進捗状況等について

平成29年度情報公開・個人情報開示の状況について  
請願・陳情採択事件処理状況の報告について

大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(あんしんプラン)第7期計画について

大田原市自家用有償バス設置条例の一部改正について  
大田原市ユニアバーサルデザインタクシー導入費補助金交付要綱について

第2次大田原市食育・地産地消推進計画の策定について

大田原市住生活基本計画(大田原市住宅マスタープラン)の策定について

「大田原市市営住宅等長寿命化計画(大田原市市営住宅ストック総合活用計画)」の策定について

「第42回パリマラソン大会」派遣選手の成績について

(協議事項)  
大田原市国民健康保険運営協議会委員の委嘱について

(報告事項)  
名誉市民の推举について  
平成29年度大田原市一般会計補正予算第6号について  
平成29年度大田原市後期高齢

### 総務常任委員会

◆6月18日

付託議案の審査

### 民生常任委員会

◆6月18日

付託議案の審査

### 建設産業常任委員会

◆6月19日

付託案件の審査

### 文教常任委員会

◆6月19日

付託案件の審査

### 議会運営委員会

◆4月12日

議場内執行部席の変更について

平成30年度間の定例会日程(予定表)の配布について  
平成30年度全員協議会(予定表)の配布について

◆5月15日

広域連合議員の任期満了に伴う選挙の実施について  
市長の就任あいさつ、及び祝辞について

◆6月4日

1 平成30年第2回市議会定例会の招集について

民生常任委員会行政視察の報告について  
建設産業常任委員会行政視察の報告について  
文教常任委員会行政視察の報告について

### 議会活性化特別委員会

◆6月22日

今後の進め方について

### 議会広報広聴委員会

◆6月27日

議会だより(5月号)の内容確認について  
議会だよりの今後の審査方法について  
第3回議会報告会の開催について



## 市議会では インターネットによる 生中継をしております

### ●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



### ●大田原市ホームページ

<http://www.city.ohtawara.tochigi.jp/>

### ●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎23-8714

みなさんからの

## 請願・陳情



(委員会審査状況)

東海第二原発の稼働延長を認めない  
意見書の提出を求める陳情

陳情第1号

(平成30年5月提出)

(提出者)

宇都宮市一条4-5-11  
原発いらない栃木の会

代表 大木一俊

(陳情の趣旨)

東海第二原発の40年を超える運転を認めないことを要望する意見書を採択し、東海第二原発の再稼働について許可権限或いは許可に際し意見述べる権能を有する関係省庁に送付してほしい。

(総務常任委員会審査の内容・結果)

## 請願・陳情はこんな方法で

- 請願（陳情）書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願（陳情）者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版をお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

### 〈請願（陳情）書の書式例〉

《表 紙》

○○○に関する  
請願 (陳情)

紹介議員名  
(陳情は不要)

印

《内 容》

1. 請願（陳情）の趣旨
2. 請願（陳情）の理由  
平成〇年〇月〇日

請願（陳情）者  
住所  
氏名  
大田原市議会議長あて

印

# 議会日誌

# 4月

- 5月
- 12日○全員協議会
  - 議会運営委員会
  - 広報広聴委員会
  - 24日○関東市議会議長会総会
  - 17日○栃木県市議会議長会議
  - 8日○広報広聴委員会
  - 15日○全員協議会
  - 議会運営委員会
  - 16日○民生常任委員会行政視察(東京都港区、沖縄県那覇うるま市、沖縄県那覇市18日まで)
  - 文教常任委員会行政視察(佐賀県唐津市、佐賀県NPO法人鳳雛塾、佐賀県神埼市18日まで)
  - 総会
  - 21日○総務常任委員会行政視察(大分県豊後高田市、福岡県福岡市、NPO法人ふるさと回帰支援センター23日まで)
  - 建設産業常任委員会行政視察(石川県金沢市、

# 6月

- 30日○平成30年第2回市議会
- 25日○議会運営委員会
- 4日○議会運営委員会
- 11日○平成30年第2回市議会
- 定例会招集(本会議)
- 14日○本会議(一般質問)
- 13日○本会議(一般質問)
- 15日○本会議(一般質問)
- 18日○総務常任委員会
- 19日○建設産業常任委員会
- 文教常任委員会
- 21日○本会議(議決)
- 全員協議会
- 22日○議会活性化特別委員会
- 26日○議会報告会
- 27日○議会報告会
- 広報広聴委員会
- 28日○議会報告会
- 29日○議会報告会

## 「市民5分間演説」をしてみませんか

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができます。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様の参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

### (演説申込について)

演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書(様式第1号)を提出してください。

なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



# 各常任委員会行政視察報告

5月の下旬に、総務、民生、建設産業、文教の4常任委員会が、それぞれ行政視察を行ってまいりました。各常任委員会の報告は以下のとおりです。

## 総務常任委員会

5月21日～23日（所管事項調査）

### 一大分県豊後高田市

### 三 東京都 NPO法人ふるさと 回帰支援センター

#### 「移住定住について」

官民一体で人口減少問題に取り組んでいる。「住みたい田舎ベストランキング」6年連続ベスト3、2018年は第2位に輝く。

移住定住関連補助金の種類の多さ（155項目の支援事業）と切れ目のない施策が結果につながっている。

大田原市移住・定住サポートセンターとの連携強化。行政の感覚より民間の視点で、一般の方の目を引く広報PRを行い、ワンストップサービスに努めている。



NPO法人ふるさと回帰支援センターにて

## 民生常任委員会

5月16日～18日（所管事項調査）

### 一 東京都港区

### 三 沖縄県那覇市 「エコマール那覇」 「エコプラザについて」

#### 「港区エコプラザについて」

本施設は、区民が気軽に集まり、「環境」について理解を深める体験型の施設である。様々な企画事業や講座や豊富な展示コーナーを通して、身近な気づきの啓発に貢献している。

二 沖縄県うるま市  
「健康福祉センター  
うるみんについて」

本施設は、市民の健康保持増進と福祉活動の拠点としての保健相談センター機能と福祉センター機能を有している。館内には温水プールと運動指導室、社会福祉協議会、市健康支援課があり、健康福祉拠点施設の役割と魅力あるイベントやセミナーも充実している。

行政は支援する側、市民は支援される側という括りはなく、市民・企業・NPO・ボランティアと一緒に支援することができる「共創」の取組みを始めた。市民同士が防災意識を共有できる防災ママカブ工や女性の視点を生かした「防災ミニブック」など市民目線での活動が広がる。



港区エコプラザにて

## 建設産業常任委員会

5月21日～23日（所管事項調査）

### 一 石川県金沢市

#### 「創業支援策について」

#### 三 長野県千曲市

#### 一 佐賀県唐津市

#### 「文化財保護について」

#### 三 佐賀県神埼市

ら学び得たものを将来に役立ててもらおうと取り組んでいる。

金沢市では、起業支援相談窓口を開設し、相談者の段階や業種に応じて、市役所内の関連部局、市内の起業支援機関と連携を図りながら、ワンストップ窓口として起業支援を行っているほか、商業活性化アドバイザー派遣を行い、相談者のニーズに応じた支援体制を強化している。

### 二 富山県射水市

#### 「下水道事業の企業会計移行及び下水道ビジョンについて」

千曲市では、特色ある優れた地域資源の一体化による新たな魅力と集客力の向上を目指し、「千曲市観光振興計画」を策定している。宿泊・飲食業等の振興、関連産業や各地域との連携を強化し、従来の「観光」の枠組みを超えた地域づくり、地域振興の側面から発展方向を明らかにしている。



射水市役所にて

## 文教常任委員会

5月16日～18日（所管事項調査）

### 一 佐賀県唐津市

#### 「文化財保護について」

#### 三 佐賀県神埼市

ら学び得たものを将来に役立ててもらおうと取り組んでいる。

#### 「放課後児童クラブと放課後子ども教室の密接な連携体制について」

### 二 佐賀県佐賀市

#### （NPO法人鳳雛塾）「キヤリア教育について」

放課後子ども教室と児童クラブとの一体的な連携を構築し、実践している取り組みにより、全ての子どもを対象とした安心・安全な放課後の居場所づくりと併せて、講師を地域の方々等に協力してもらうことで、地域住民との交流の場としての役割も担っている。

射水市では、本市と同様に施設の老朽化対策や集中豪雨への対策などの課題を抱える状況の中で、下水道事業会計を長期的に安定した事業運営が図られるよう、企業会計方式へ移行している。また、良好な水環境と安全で安定した豊かな市民生活を守り続けるため、「射水市下水道ビジョン」を作成している。



佐賀市立循誘小学校にて

## 永年在職議員の表彰

全国市議会議長会より永年在職議員の表彰があり、第2回市議会定例会初日に表彰伝達式が行われました。

(20年表彰)

中川雅之  
議員

(10年表彰)

小池利雄  
議員



# 暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法第199条の2において、公職の候補者等が選挙区内の方々に對して、お中元、お祭り等の寄付、新盆の供物等、從来から慣行として行われているようなものも寄付に該当し禁止されておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。

大田原市議会議員一同

## 平成30年 9月定例会 開催のお知らせ

会期(予定)

**9月3日(月)~9月18日(火)**



市議会HPは  
こちらから



※一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」の日本遺産への認定おめでとうございます。

6月に行われました市議会の一般質問の中から、2点の内容について書いてみます。

選挙の投票率と投票所について、投票率の向上策としては、高齢者への移動支援や移動投票所の導入を検討したいとの答弁がありました。

また、3月に行われた市長選においては、道の駅那須与一の郷に期日前投票所を設置したとの説明がありました。投票所の数は、平成23年に63投票所から40投票所に変更されました。市外地ほど投票所は遠くなってしましました。高齢者への負担は大きくなりました。

また、高齢者の移動手段についての運転免許証の返納にな



〈福原〉  
佐藤 久義さん



勧められています。投票における環境を考えたとき、移動支援等の導入は大変良いことだと思います。

登下校の安全対策について質問者は、新潟の現場に行かれ焼香されたと話されました。また、防犯ブザーの取り付け位置や電池切れ等の確認についての質問がありました。学年やクラス単位で、定期的に点検されているものではないでしようか。市内には、千人からのボランティアがいて子ども達を見守っていることを知りました。

議会における質疑応答は、緊張感の中にも時として笑いがあり大田原を良くしていくのだという熱い思いが伝わってきます。今後も機会を作り市議会を傍聴したいと思いま